

幼児教育に役立つ動画を配信中！



YouTube
のびラボチャンネル



幼児教育・小学校受験対策プリント
ダウンロード販売サイト
<https://www.nobilabo.com/>

©Nobilabo 2021 無断転載や内容を改ざんしての配布、転売などはご遠慮ください。



てんごくのかみさまは てんしに いました。
「あの まちで いちばん うつくしく、いちばん とういものを ここに もって きなさい。」
てんしたちは、まちへ おりてくると おうじの なまりの しんぞうと、つばめの なきがらをもつて きました。



ある あきの よる、いちわの つばめが とんできました。

つばめは あたたかい みなみの くにくい とちゅう、なかまとはぐれてしまったのです。
「きょうは、ここで やすもう。」
つばめが ひとやすみ していると、つめたい しずくが ぼつり… ぼつり…と おちてきました。
それは なんと おうじの サファイアの めから おちてくる なみだでした。



あるまちのひろばに、おうじの ぞうが たっていました。
おうじの からだは、きらきら ひかる きんぱくでおおわれていました。
めには あおい サファイア、けんには まっかな ルビーが ひかっています。
1 まちの みんなは このぞうを ほこりに おもい「しあわせなおうじ」と よんでいました。



「よく えらんできた。」かみさまは てんしたちを ほめました。
「しあわせな おうじ、そして ちいさな つばめよ。
この てんごくの にわで いつまでも いっしょに くらすがよい。」
かみさまは、おうじと つばめに あらたな いのちを あたえました。
こうして、おうじと つばめは てんごくで いつまでも しあわせに くらしました。



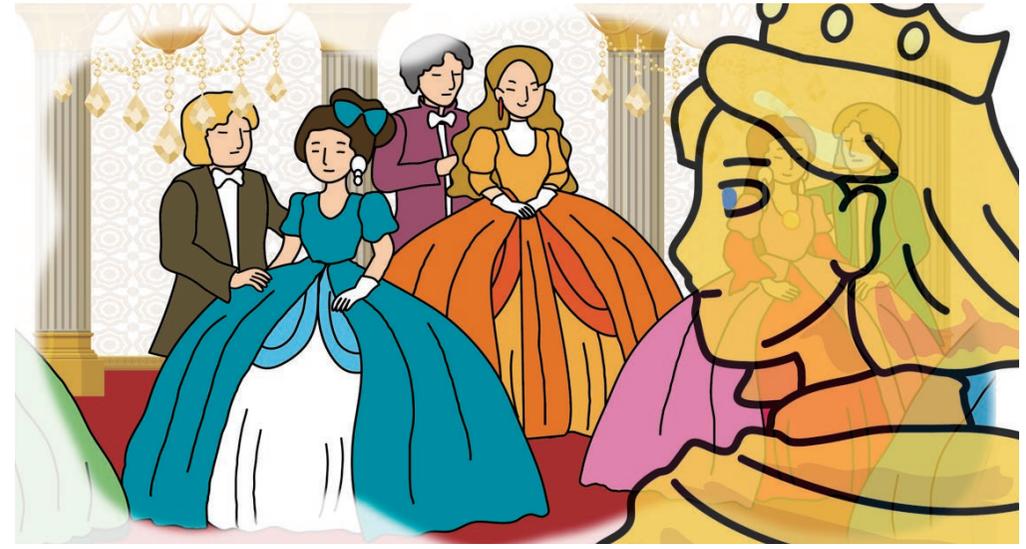
しんばいになった つばめは ききました。
「あなたは なぜ、ないているのですか。」
ふしぎそうに たずねる つばめに おうじは いいました。



ふたつに われた なまりの しんぞうは、
しんでいた つばめと いっしょに くさむらに すてられて しまいました。



おうじの ぞうは こわされることになり、こうじょうにもっていかれて とかされました。
ところが なまりの しんぞうだけは、どんなにあついひでもやしても とけませんでした。



「わたしは いきている あいだ、ないたことが なかったんだよ。
まいにち おしほの なかで、たのしいことだけして くらしていた からだ。
ところが、しんだあと きんのぞうになって、こうして まいにち まちの ひとたちを みてみると、
いろんなものが よく みえるんだ。」



そして ある ゆきのひ、
「おうじさま、ほくは あなたの おやくに たてて よかった。ほくは ほんとうに しあわせ でした。
このまま あなたの おそばで ねむらせて もらいます。ありがとう…」
そういって、つばめは おうじの あしもとで うごかなくなりました。



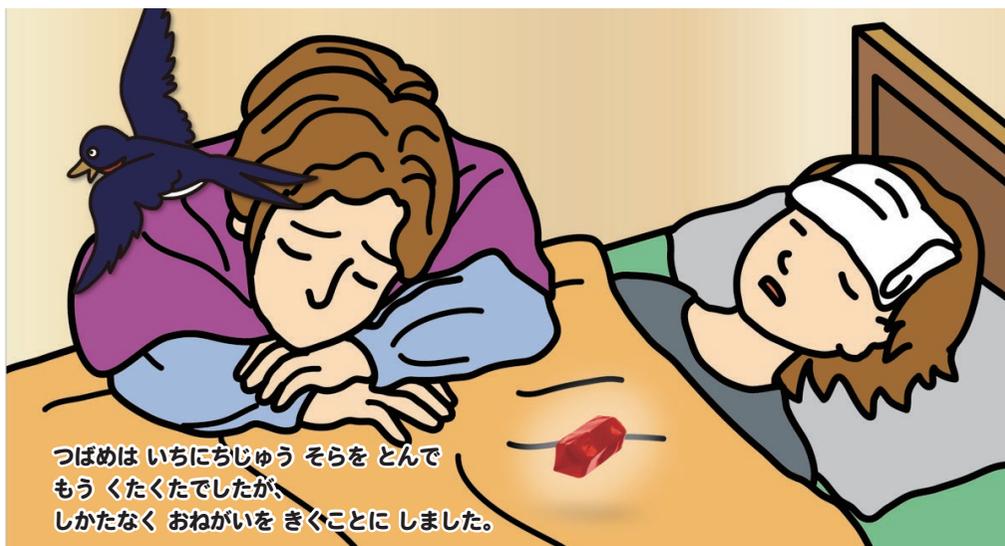
そうして、おうじは いいました。
「あの まちの はずれにある いえを みてごらん。
こどもが びょうきなのに、くすりを かう おかねも ないんだ。つばめくん、おねがいだ。
わたしの けんの ルビーをとって、あの いえに とどけて くれませんか。」



「このまちにはまずしくてくるしんでいるひとたちがたくさんいることがわかった。わたしのしんぞうはなまりでできているけれど、こまっているひとたちをみると、なみだがでてくるんだ。」



おうじのなまりのしんぞうは、かなしみのあまりパリンとふたつにわれてしまいました。つぎのあさ、まちのひとたちはおうじのぞうがすっかりきたなくなっていることにぎびぎびしました。



つばめはいちにちじゅうそらをとんでもうくたくたでしたが、しかたなくおねがいをきぐことにしました。

つばめはルビーをくわえると、そのいえまでとんでいきました。そして、つかれてうとうとしているおかあさんのそばにそっとルビーをおきました。「きっとこのルビーでくすりをかえるだろう。」そうかんがえると、つばめはあたたかいきもちになりました。



「ときがたち、まちはすっかりふゆになりました。あれほどうつくしくかがやいていたおうじのきはぜんぶなくなり、すっかりみずほらしくなっていました。」



それから、つばめはまちを とびまわり、
 さまっているひと、かなしんでいるひとを みつけると、
 おうじにはなしました。

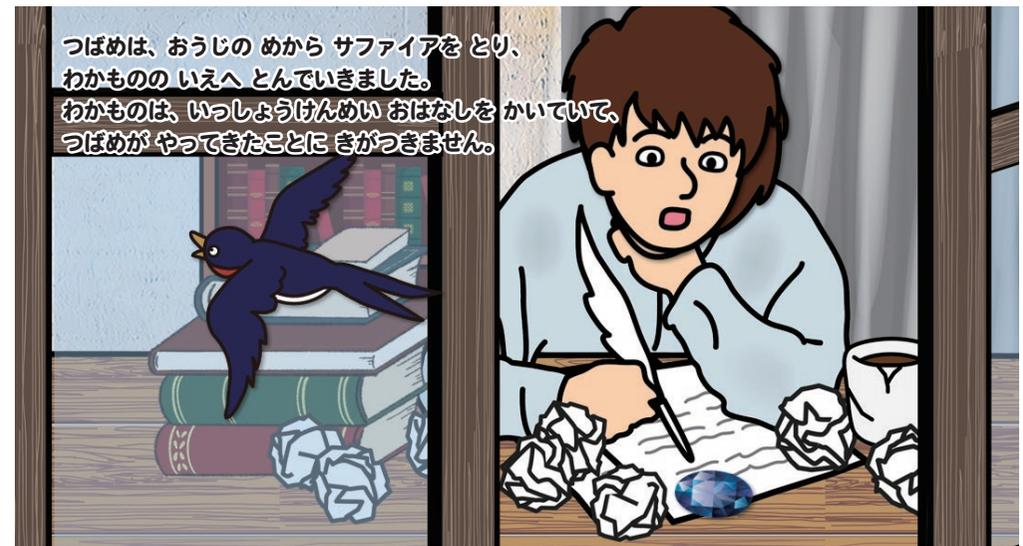
おうじは つばめに いいました。
 「わたしの からだには あってある きんを はがして、まずしい ひとびとに とどけて おくれ。」
 つばめは、くちばしを きずつけながら いちまい、また いちまいと きんを はがしつづけました。



つぎのひ、つばめは おうじに いいました。
 「ぼくは、これから みなみの くには しゅっぱつします。どうか、おげんきで。」
 ところが、おうじは いいました。
 「つばめくん、もういちど わたしの たのみを きいて もらえないだろうか。」



つばめは、むねが いっぱいで なにも いえなくなりました。
 そして、なみだを ながしながら サファイアを くわえ おんなのこの もとへ はこびました。
 とつぜん そらから おちてきた ほうせきに、おんなのこは びっくりして、めを かがやかせました。
 「きっと かみさまが くださったのだわ。」



つばめは、おうじの めから サファイアを とり、
 わかもの いえへ とんでいきました。
 わかものは、いっしょうけんめい おはなしを かいていて、
 つばめが やってきたことに きがつきません。

つばめは かきかけの かみの うえに そと サファイアを おきました。
 やがて、サファイアに きづいた わかものは びっくりして よろこびました。
 「なんて みごとな ほうせきだ。きっと かみさまが くださったのだらう！」



「むこうの やねうらべやを みてごらん。
そこで まずしい わかい ものかきが、
こどもたちのために おはなしを かいている。
わたしの めから サファイアをとって、
あの わかものにとどけて ぐれないか。」

「おうじさまの めを？」

つばめは おどろきましたが、おうじが あまりに いっしょうけんめい たのむので、
はこんで あげることに しました。

9



もどってきた つばめに、
おうじは いいました。
「つばめくん、
たくさんの ねがいを
きいて くれて ありがとう。
あしたは みなみの くにへ
かえってください。」

ぼくは ずっと
あなたの そばに
います。

すると、つばめは しずかに いいました。

「ぼくは もう どこにも いきません。あなたは もう めが みえないのですから、
これからは ぼくが めの かわりになります。」

14



おうじさま
さようなら。

よくあさ、つばめは おうじに わがれの あいさつを しました。
「きょうこそ、ぼくは みなみの くにへ たびたちます。
おうじさま、さようなら。」

ところが おうじは、

「つばめくん、 ちょっと まって ください。

さいごに もういちど わたしの たのみを きいて ぐれないか。」と たのみました。

「とんでもないです。これいじょう ここにいたら、ぼくは ごごえて しんでしまいます。」

11



しかし おうじは いいました。
「あの マッチうりの おんなのこを みてごらん。
かわいそうに、
きょうも マッチが うれなくて ないているんだよ。
これが さいごの おねがいだから、
もう かたほうの わたしの めの サファイアを
とどけて ぐれないか。」

「そんなことを したら あなたは なにも みえなく なってしまいますよ。」

つばめは おうじを しんばい しましたが、おうじは やさしく いいました。

「だいじょうぶ だから、わたしの いうとおりに しておくれ。」

12